

# 2018年1月14日 主日礼拝 <聖餐式>

司 会 ①村上洋兄 ②間兄 ③小嶋兄

奏 楽

祈 禱 ①三浦兄 ②石塚兄

賛 美 讃美歌301番「山べに向かいて我、目をあく」  
(見よ私は新しいことをする)(聖霊の主よ)

3つの愛

聖 書 ①②へブル人への手紙13章1～8節 (P358)  
③ マタイによる福音書11章28～30節 (P17)

音 楽 ① 坪井永城師  
②③宮田四郎兄(伴奏:佐久間美江姉)

証 詞 ① 小林詩音師

メッセージ ①②「I Need You シリーズ後篇」 倉知契副牧師  
③ 「いつ学ぶ?今でしょう!」 大川従道牧師

賛 美 「明日はどんな日か」(献金・石川勲兄愛唱歌)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

「すべて重荷を負って苦勞している者は、  
わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。」  
(マタイ十一の二十八)

## 【大和ニュース】

☆本日は聖餐式。祈禱会で受けていない兄姉は、敬虔な心でお受けください。

☆転入会者歓迎！①平良姉(青年会)

・入門講座Ⅱ、手話、ヨシユア会、モーセ会、J. Plus、YYタイム(森・12時半)、SS主任会。

\* イスラエル旅行説明会は、13時。3階のロビーにて。

・ 今週も祈禱会を大切に！①水曜夜は佐々木伝道師。②木曜朝は久保田伝道師。

③金曜夜は梅津伝道師。(木曜昼食後はルツ会)

☆執事新年会(せい禱会)は、16日(火)夜6時半。シャローム館にて。

☆来週は、東京カルバリーの礼拝。ハイアットホテルにて。特賛は宮川姉。説教は大川師。

## 石の枕

God be with you till we meet again。(讚美歌405番)

「神ともにいまして」という題で知られる讚美歌。「また会う日まで、また会う日まで、神のまもり 汝(な)が身を離れざれ」とくり返される。

日本では教会で葬儀のときによく歌われる。送別の歌なのに長調なのが不思議だったが、悲しみの淵に沈む人を支えられるのは、信仰と希望と連帯だからだろう。英語の Good bye は、この God be with you が縮まったものである。

これは、2016年12月25日の朝日新聞の「折々のことば」(鷲田清一)に掲げた文であるが、今回讚美歌の中にはさんであったのを発見した。

先週の日曜日、アブラハム会の石川勲兄が主のみ許に召された。召天2日前に、国立相模原病院に入院中の兄弟をお見舞いした。牧師が祈ると、ハッキリと「アーメン」「ありがとう！」を口にされた。人生の最後が「アーメン(真実です)」と「感謝！」とは、最高の別れであった。

天国へ召されたら、救い主イエス様とお会いし、すでに召されているご両親ご兄弟がたとの再会を喜ばれるであろう。苦しみも、悲しみも、病いも、偽りもない世界で永遠に生きるのである。ハレルヤ！

奥様は美しくも知的な方。パトリアさんは、葬儀の打ち合せのときのこと、「不本意ではありますが、感謝しています！」と言われ、担当牧師も恵みを受けた。イギリス人。お父様が英国人で、お母様が日系2世の英国人。ご主人とは、玉川学園時代の同級生でした。どうぞ祈りをもって支えて下さい。

今日は、大関ヤイ姉のご主人様の召天記念日。毎年ご親戚の方々が礼拝に多勢出席されて故人を偲ばれることに、私たちは感動させられている。

天国に召されることは、「よくやった！善かつ忠なるしもべよ、主の喜びに入りなさい！」(マタイ25の23)。Enter into the joy of your Lord。

数日前にハワイのホンゴー先生の奥様からお手紙をいただいた。召天の直前に、疲れ切っていた私を、「最後の晩餐」をもってもてなして下さった。「長い間、日本に行くたびに優しい愛をもって接して下さい心から感謝しています」。

神業はお別れの言葉やチャンスもお与えくださる御方！すべては主の恵み。大感謝!!

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:マタイ11章～14章 Bコース:創世記33章～48章